

平成27年度 行政評価事業別シート

	実計対象 ■	評価対象 ■	新規 □	完了事業 □	ゼロ予算事業 □	担当者	神林久雄
	全体計画			経費区分	実施計画事業費	内線	3518
事務事業名	4213 道路改良事業（単独）						
所 属	200100 まちづくり推進部・道路河川課						
施 策	06033500 橋や道路整備の推進						
予算科目	会計	01 一般会計					
	科目	080203 土木費・道路橋梁費・道路新設改良費					
	事業	050000 道路改良事業（単独）					
事業目的				事業概要・効果			
<p>市道の整備のうち市単事業で実施するものは補助事業以外の幹線道路と生活道路等小幅員の道路整備であり地域の要望等により必要性や緊急性などを考慮して計画的に整備を図る。また、補助事業採択に向け測量設計を先行しながら、地元合意を形成して行きたい。</p>				<p>市道は幹線道路をはじめ地域住民の日常生活に必要な不可欠な生活関連施設であり地域振興に大きく貢献する役割を果たしている。</p>			

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成22年度 実績	平成23年度 実績
①八幡公会堂線 L = 40m ②高畑線 L = 260m ③明光寺中田橋線 L = 77m ④高甫橋県民運動場線 ⑤亀倉北原線 ⑥大日向町新道 ⑦宮原寺窪線 ⑧須坂保育園前線	①峰の原線 L = 360m ②井上線 L = 76m ③八幡公会堂線 L = 40m ④相之島千曲川沿線支線3号線 L = 35m ⑤大日向町新道 L = 82m ⑥宮原寺窪線 ⑦高甫橋県民運動場線 ⑧土手内土手外線 ⑨亀ノ春2号線 ⑩常盤下八町線
平成24年度 実績	平成25年度 実績
①峰の原線 L = 165m ②井上線 L = 126m ③大日向新設道路 L = 264m ④土手内土手外1号線 L = 110m ⑤長野電鉄旧屋代線 ⑥常盤町下八町線 ⑦高梨宮川八重森線 ⑧小山八幡町線 ⑨郷原1号線	①小山八幡線 ②東中学校線 ③高梨宮川八重森線 ④八幡団地八幡浦線
平成26年度 実績	平成27年度 予定
①北組沖1号線 ②八幡南原線 ③小山八幡線	市道改良工事、歩道設置整備事業

指標名 道路整備及び修繕の対策事業箇所							
算式						単位	箇所
年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
目標値	目標				5	5	
	実績	10	9	3	3		
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名							
算式						単位	
年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名							
算式						単位	
年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		平成26年度 決 算	平成27年度 予 算
事業費		103,267	60,258
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	19,766	0
一般財源		83,501	60,258
人員数(人)	正規職員	0.6	0.9
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	4,114.8	6,172.2
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	4,114.8	6,172.2
市民一人当たりの経費		2.1	1.3
総額		107,381.8	66,430.2

(単位：千円)

平成26年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	19,535	
15節 工事請負費	32,113	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	51,619	

(単位：千円)

平成27年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	11,000	測量・設計委託
15節 工事請負費	18,500	工事費
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	30,758	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	市道は幹線道路をはじめ地域住民の生活関連施設であり地域振興に大きく資する。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	地元要望・緊急度等から優先順位を決め対策の実施。安心安全な市民生活の確保が図られる。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	やや向上
評価コメント	現地踏査等によりコスト削減を検討し整備を実施。受益者負担金は過去の経過等から困難と考える。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

実施計画どおりに事業は順調に進捗している。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
引き続き関係地権者と用地取得や補償物件等について交渉し、随時調印を行う。 工事を実施し、安全・安心で快適な道路整備の推進を図る。		地域住民の快適な住環境を図るために、財源の確保と計画的な整備を進める	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	